

Information

9月26日(土)「幻聴・妄想体験を語る会」

ピア活動グループ「ホープ・オブ・ハート」が企画運営して行います！

【募集人数】15名まで(先着順)

【会場】キッチンハウスみやま

【申込み】麦のゆめ 飯野まで ☎0279-25-8866

【絵画教室】

8月の絵画教室はお休みです。
コロナウイルス感染拡大を受け、密閉・密集・密接を避けた対応が必要と判断しました。安心してまた絵画教室が開催できるようになりましたらご案内致します。

しんとうふるさと公園夏まつりが中止に！

毎年、榛東村にある「しんとうふるさと公園」で開催される夏まつり。今年はコロナウイルス感染拡大により中止になりました。「麦のゆめ」も毎回、パン販売や野外ステージでの音楽イベント等で参加させて頂いていたのでとても残念です。安心してイベントが開催できる日を待ちたいと思います。



新年度(令和2年)度賛助会員募集中！

「山脈」の設立趣旨に賛同し、私達の活動を応援してくれる方を募集します。一口2,000円で何口でもかまいません。昨年に引き続き、皆様の温かいご理解とご支援を宜しくお願い致します。

賛助会員 年会費 2,000円(一口)

山脈ニュースをお届けします

賛助会員になられた方には、毎月、当法人の活動の内容をお伝えする「山脈ニュース」をお届けします。

発行

特定非営利活動法人 山脈 理事長 笹澤 繁男

住所：〒370-3604 群馬県北群馬郡吉岡町大字南下 983-2(みやま工房内)

電話：0279-54-2947 FAX：0279-54-9171

E-mail：rep@npo-yamanami.jp

URL：<http://www.npo-yamanami.jp/>

運営 就労継続支援B型事業所「みやま工房」

就労継続支援B型事業所「麦のゆめ」

多機能型事業所(就労継続支援A型・B型)「キッチンハウスみやま」

多機能型事業所(生活訓練・就労移行支援)「ワークハウスみやま」

グループホーム「ハーモニーやまなみ」1号・2号・3号・4号・5号・6号

(文責：笹澤賢一)

NPO
法人

山脈ニュース

2020年
8月号

いよいよ夏本番！みやま工房の農業が最盛期を迎えます！

夏本番を迎え、みやま工房の農業事業の夏の主要作物である枝豆が出荷シーズンに突入し、最盛期を迎えました。畑には、収穫を控えふっくらした緑の枝豆が鈴なりに実っています。

●梅雨空の下、緑が広がる枝豆畑

これからの季節、梅雨空の下、毎日、職員が中心となり畑から枝豆を収穫し、軽トラの荷台いっぱいに摘んでみやま工房の作業場に運び込まれます。また、枝豆は時期をずらしながら畑に定植されていて9月頃までの出荷を予定しています。



●出荷作業は機械を導入して効率化



作業場に運び込まれた枝豆は、もぎ取り機を使って枝から実だけをもぎ取ります。その後、実は選別機にかけられます。

実の大きさ、房に入っている数などによりA級品、B級品、C級品に選別され、袋詰めされ市場に夕方には出荷されます。

枝豆はみやま工房にて、期間中は個別にも販売いたしますので、ご用命があれば、直接、みやま工房までご連絡下さい。



●みやま工房では稲作、長ネギも取組んでいます



6月には無事に約3町5反歩の田植えも終わりました。お米はお弁当事業のキッチンハウスみやま、グループホームのハーモニーやまなみ、また、近隣のグループホーム等に販売しています。
長ネギは晩秋頃より本格な収穫が始まります。

新しい山脈を創る！
委員会・WG 紹介 PART II

業務・環境改善委員会

【目的】 今まで法人内でまかり通っていた不文律の習慣を明文化し、なানাあで済ませていたことは規律化し、あやふやな報・連・相はフォーマット化して、職員の皆さんがつまらないことで悩む時間を無くして行きます。最終的には法人のひとりひとりが知識や情報・スキルを共に兼ね備えた「オールマイティな組織」、「フラットな組織」を目指します。

【活動予定】 各委員が法人や事業所内での懸案事項を持ちより、この委員会で討議し、練り上げたものを管理者会議に上程し、承認後、法人の運営や事業所の運営に反映させて行きます。この作業を繰り返し、一年を通じて業務改善、環境改善に取り組んで行く予定です。
また、上程したら終わりではなく、きちんとその改善内容がそれぞれの運営に反映され、効果を発揮しているかを追跡し、その改善内容についても一年を通じて精査して行きます。

【委員構成】 大井由紀子（キッチンハウスみやま）
山内 克男（ワークハウスみやま）
松浦玲一郎（麦のゆめ）
小野 聡司（みやま工房）
芦川 香織（ハーモニーやまなみ）
加邊 富子（総務課）



大井さん(キッチンハウスみやま)

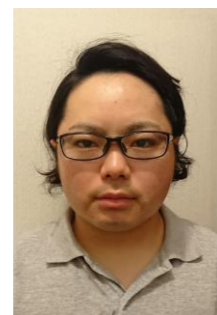


山内さん(ワークハウスみやま)

【抱負】 ・皆さんのお力をお借りして、業務改善を進めて行けたらと思います。そして、委員会活動を通じて自分自身も成長して行きたいです。(大井)
・今、現場の第一線で支援活動や生産活動に携わっている職員が、自分の仕事に楽しみ、やりがいを感じて行けるように業務の在り方や、考え方も含めて、改善や勉強する機会にして行ければと思います。(山内)
・恥ずかしがり屋の照れ屋さんなので、目立たぬように活動していけたら…と思います(松浦)
・日頃、皆さんが感じている「もう少し良くなるかな？」を改善できるように委員会を通じて頑張っていきますので、宜しく御願います。(小野)
・口は禍のもと。しかし、言わないと伝わらない。いいバランスを保ちながら業務改善に尽力致します。(芦川)
・自分の経験を活かして、皆さんと協力し合いながら、山脈を会社組織として良くしたいと考えています。宜しく御願います。(加邊)



松浦さん(麦のゆめ)



小野さん(みやま工房)



芦川さん(ハーモニーやまなみ)



加邊さん(総務課)

委員会レポート(どんなことやっているのかな?)

4月より「業務・環境改善委員会」は、毎月、最終週の火曜日の16時から会議を開催し、各委員が改善課題を持ちより、具体的な改善の提案を行っています。その議題は、各事業所で使っている様々な書式の統一化や、報・連・相や情報の共有の仕方、タイムカードによる勤怠管理の導入などテーマは多岐に亘っています。

既に改善に取り組み出した具体的な事例をご紹介します。改善テーマは効率の良い会議の運営についてです。山脈では法人や事業所の運営、更には利用者の支援について、更には小さなミーティングから管理者が揃う会議など、非常に沢山の会議が日常的に行われています。しかし、山脈でも会議時間が長く、その結果、何を話し、何が決まったのかわからなかったなんてことが時々あります。こうした会議は、職員の負担、時間や人件費等のコストにも影響があります。

本来、会議とは「意思決定の場」であり、仕事を進める上でとても重要なものです。そして、そのためには会議は時間というコストを掛けず、効率が良く生産性のある運営を行う必要があります。そのため、「業務・環境改善委員会」では、効率の良い会議を実施するため、以下の決まりを作りました。

「効率の良い会議を実施するために」

- ①議事提案書・資料の提出は3日前、遅くとも会議前日には提示し、参加メンバーで共有できるようにする。
- ②議事提案者は、その内容が法人の決済を必要とする議事の場合、事前に法人代表等との相談をしておく。
- ③会議に参加するメンバーは、事前に議事提案書・資料に目を通し、自身の意見をまとめておく。
- ④会議で意見を述べる場合は、「私こう思います。こう考えます」と結論から言う。
- ⑤会議に参加するメンバーは、必ず会議の場に於いて意見を言う。意見を言わない事は、会議に参加していないのと同じこと。会議の目的は、「意思決定」であるため、全員が必ず意見を言う必要があります。

新しい仲間！5月入職の新人職員のご紹介

萩原 順一 さん (63歳)

配属	みやま工房
職種	農業専門員(目標工賃達成指導員)
入職日	令和2年5月1日
出身地	群馬県
星座	5月生れ おうし座
趣味・特技	スポーツ観戦、料理
抱負	今まで農家として培ってきた経験と技術を微力ではありますが活かし、山脈の発展のために努力をして行きたいと思っています。



温かい御支援ありがとうございます。大切にさせていただきます！

●マスク150枚

ワークハウスみやまの利用者、綿貫大介様のご家族様よりマスク150枚の寄付を頂きました。